

残りの者 シャーアル

石巻祈りの家NEWS LETTER 「シャーアル」(95号)
986-0801 宮城県石巻市水明北3丁目13番28号
TEL / 0225-96-1497 Email/ hjm-ja2@yg8.so-net.ne.jp
振替口座 02290-6-126186 口座名称 阿部一
●代表/阿部一 ●副代表/菊池せい子

信仰: 隔ての壁を打ち破れ

- 時代は不信と不安に覆われ始め、歴史の中で繰り返されてきた隔ての壁が国と国、民族と民族、集団と集団、個人と個人の間でますます厚くなっていくように感じます。
- 19世紀に同じ経過から、私たちは「それがおかしい」と感じながらも誰も止められずあの悲惨な2度にわたる世界大戦に突き進みました。そしてその反省から平和への努力がなされてきましたが、それが忘れ去られたかのようです。
- このような状況の中で、私たちクリスチヤンは何が求められているのでしょうか。
- 創造において、神のかたちに作られ、神との豊かな交わりが許されていた第一のアダムは、与えられていたその自由を自己のために誤って用いて、罪に支配され、死に至る乗り越えることの出来ない隔ての壁を作りました。
- 神の愛から離れた人間は己の知恵と力を過信し、幸福な社会と新たな平和は自分たちで作り出せるとさまざまな主義を立ち上げてきました。しかし、すべてが自我の故に新たな隔ての壁を作る結果となり失敗の歴史を歩んできました。
- 愛の神はそのような私たちを放置できず、天使が「いと高きところに神に栄光、地には平和」と賛美する中で、御子イエスをこの世に送られました。しかし、人々はその平和の君を受け入れませんでした。
- 山上の教えで、主は群衆に「平和を造り出す者は幸いです」(マタイ5/9)と説かれました。また、パリサイ人の指導者ニコデモに対して主は「新しく生まれなければ神の国を見るすることは出来ない。」(ヨハネ3/3)と答えられました。
- 第二のアダム、主イエスは、罪に支配されている人間のために平和の道を十字架と復活の事実を通して、隔ての壁を打ち碎く、新たな創造の業を切り開かれました。
- 神はキリストの愛と復活の約束を信じる者を新たに生きる者として造り替え、その完成を目指し、この世に神と共に平和をもたらす役割を私たちに委ねました。
- 他方、私たちは神の義を掲げながら、古き自我に支配され、多くのいのちを奪い、多くの民を苦しめてきた歴史的な過ちも見逃すことはできません。
- 今、私たちはただ嘆くだけでなく、自らの中にある偏見や差別という隔ての壁から始め、家族や教会を含めた社会に内在する隔ての壁を打ち破る勇気が求められています。
- 主がなされたさまざまその挑戦を、自らと私たちの挑戦として実行する必要があります。それは、新しく生まれた者の使命でもあると思うのです。地に平和がもたらされますように、そして私たちも日々新たにされますようにと祈りながらこの月も主と共に歩みたいと願います。

先月の多くの恵みから

- ① 1/24の礼拝は震災後に「コミュニティ・サポート「からし種」を立ち上げ、被災者支援の奉仕をされている鈴木手以師にメッセージの奉仕をして頂きました。
- ② 仮設入居者への生活消耗品は1/20に4種（トイレットペーパー/ティッシュペーパー/味噌/醤油）を、灯油は1/11と25日（この冬6回目）に皆さんのがけて下さった資金で支援が出きました、多くの感謝のことばを預かりました。
- ③ 1/13に、私たちの教会で第5回「宮城三陸東日本大震災追悼祈念会」の準備委員会が開催されました。3/9には気仙沼第一聖書バプテスト教会で。3/10には渡波キリスト教会でプレコンサートが、そして3/11に石巻の「みなと荘」で

フロリダの和世姉からの啓蒙様



地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです
(コロサイ1/20)

追悼祈念会が開催されます。奉仕されるミュージシャンやスタッフのためにお祈り下さい。2/9に最終の委員会がもたれます。

④ 1/10に東松島のアメージング・グレース・サポートセンター（泉福音チャペル）でのコンサートとメッセージの奉仕に来られた竹下 力師/静姉が礼拝に出席下さいました。3/13には竹下師が礼拝で奉仕をして下さいます

⑤ 月報に「信仰を詠う」欄に毎月短歌を投稿して下さっている阿部八重子姉の短歌集（第2集）、今回はご主人が編集・製本をして下さって、素敵に出来上りました。

⑥ 本庄教会の吉田 孝師より沢山の地元の名産のネギと山芋を、黒木アドリア師からは聖地旅行のお土産のドライナツメヤシ、斎藤照身ご夫妻からは山菜など、田村淳子さんからは2回にわたりお菓子と支援物資を、菅原兄姉より自作カレンダーを、そして1月も多くの方々から支援活動費や灯油献金で活動を支えて頂きました。心から感謝申し上げます。

⑦ 多くの方々から年賀状を頂き、祈り励まして下さっていることをとても有り難く思い、感謝しています。また、つばさ姉、平田姉、結婚された南姉の訪問でお交わりをいただいたことも感謝です。

⑧ 1/31の礼拝にケイティ宣教師、カフマン宣教師、倉田姉と娘さん、それに仙台の佐々木真奈姉と恵麻ちゃんが参加して下さる予定です。

⑨ 2016年度の総会準備と活動計画のためにお祈り下さい。

■ 今月、次の課題を祈っていただければ幸いです。

- ① 2016年度の活動と地域から求道者が起こされるように。
- ② 石巻での第2回「3.11宮城三陸震災追悼祈念会」の準備のために。
- ③ 石巻宣教ネットワーク (IMN) の各教会・支援団体のために。

群の定期集会

・礼拝（毎週日曜日）	10:00-11:30
・祈り会（毎週水曜日）	10:00-11:30
・聖書を読む会（第1火曜日）	10:30-12:00
・ほっと・Time（第3火曜日）	10:30-12:00
・コーラス「花」（第2,4木曜日）	13:30-15:00
・楽しい手芸（第2,4月曜日）	10:00-12:00
・学習支援（地域の子どもの要望に応えて応援/木・土）	

信仰を詠う

2月 2016年 元旦礼拝

人をとる漁師にするとの宣教は

奏楽にのり うねりて響く

物言わぬ砂浜の砂一粒の

うなづく

役割合点 ひと日に合す

いちにち

一日が積まれていつか御国へと

降り立つまでは 生 and 愛



阿部 八重子

大晦日は おせち料理を手抜きし年年に合わせた時間を過ごして元旦礼拝へ。日頃忙しい会員が全員揃い、それに平塚くに子さんが交わる嬉しい記念礼拝になりました。

1月に来訪されたボランティア・チームと先生方および仮設支援と教会活動の様子



1/24 鈴木手以師礼拝事仕



2016年最初の聖日礼拝後に



1/13 「3.11追悼祈念会」準備委員会



1/10 竹下ご夫妻東松島のAGCでの事仕の後で



1/24 今年一番の大雪



1/10竹下ご夫妻礼拝に



1/20 仮設生活消耗品支援



1/25 今冬6回目の灯油支援



1/9 川本つばさ姉来訪



1/11 平田美保姉来訪で情報交換



フィリピンSHYLF関係誌に証し掲載



阿部八重子姉の短歌集・第2集完成

アドナイ・イルエ

「アドナイ・イルエ」=主の山に備え在りの意

私たちの教会活動の紹介 ⑦

コーラス「花」：歌の訪問

阿部秀子

このシリーズでは、私たちの家の教会の現在の諸活動の様子をお伝えします。今回は定期活動の「コーラス『花』」の様子です。

グループホーム「ぬくもりの家」に、2015年12月11日に「歌の訪問」をしたときの様子です。

「こんにちは～！、コーラス「花」です。（総勢8名）

「あ～、ありがとうございます。よろしくお願ひします。」

手の消毒とうがいをしてから、皆さんがにこにこして待っているお部屋に。

持参したキーボードをセットして一列に勢揃い。以前、大きな介護施設に勤めていた姉妹が、やわらかく、ゆっくりと話しかけるようにして小さな音楽会を進めます。

初めの曲は、

「わたしからあなたへ、この歌を届けよう。広い世界にたった一人のわたしの好きなあなたへ」と「切手のない贈りもの」です。ちょっと所作を加えますので、「歌詞を暗記して皆さんに話しかけるように歌おうね。」ということになっているのですが、その暗記が難しい！ ちらりと楽譜を見ながら精いっぱい歌でのご挨拶です。

その後は、ホームの皆さん隣に入って一緒に歌います。昔のなつかしい歌や童

謡、ちょっと演歌（？）も。事前に、その日歌う曲の楽譜とか歌詞をお届けしていますので、殆どの施設では歌集のように綴じて、分かる曲は練習して待っていて下さいます。12月でしたので、冬の季節の歌も、クリスマスの歌も沢山歌いました。

「コーラス」として聴いて頂く曲も加えますので、今回は「雪の降る町を」を想いを込めてたっぷりお届けしました。静かに聴く方もいますが、皆さんがとても楽しそうに精一杯歌って下さいました。

終わって、「入所者がお菓子を手作りして下さったので、



一緒にお茶をどうぞ。」とうれしいお招き。そのお交わりの中、ご自分の昔のことを思い出しながら懐かしそうにいろいろお話して下さったり、民謡を歌って下さったり、手拍子を交えての歌の宴会でした。

私達には喜んで頂けるのが一番うれしいことですが、喜びや苦しみ、悲しみを越えて年を重ねてきたその姿に、反対に教えられ考えさせられることがあります。

「又来てくださいね」の声に送られて、現地解散。

12月は3日に、もう一ヵ所「めだかの楽校」訪問もありました。入所者の多い施設やグループホームなどから「毎月来てください！」のプロポーズがあるのですが、普通のコーラスとしての練習もありますので、それはなかなか難しい！

コーラス「花」は、前の教会で「賛美歌をうたう会」として始まりました。でも合唱好きな方達が集まっているので、お互いのメロディーを聴いて合わせるのがうれしく、いわゆる「合唱曲」を多く歌っています。八重子さんが作曲家片岡良和さんに依頼して女声三部に編曲して頂いた

「白いたより」（見上げれば白、見渡せば白・・）は途中でパートが入り混じりかなり悩みましたが皆さんのが熱意でOK。

賛美歌の「いつくしみ深き」は女声の三度の響きが美しいので二部に編曲しました。メンバーから「この曲を歌いたい」や「素敵な曲があったわよ」と推薦をいただいたのも加えます。詩の奥深さやハーモニーの美しさにため息をついたり・・とにかく、楽しい時間です！

「花」という名前は、「年齢が進んでも、花のようでいたいね」との願いから。集まる日は、第二と第四の木曜日の午後一時半です。歌った後は、もちろんお茶の時間です。そこで話の花が咲いて、ぐちゃぐちゃに笑い転げています。

クリスチャンは今のところ三人です（距離が遠いのと地域の用事が多くて来れなくなってしまった姉妹もいます）。

「花」のメンバーのために、もっと真剣に祈っていました。私達が御子の尊い十字架の贋いを頂くほど愛されているように、この方たちにも同じいのちにつながり、主が側にいて愛してくださっているのに気づいて欲しいと。